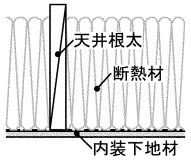
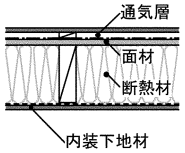
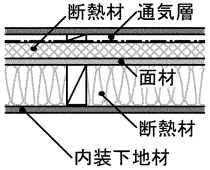
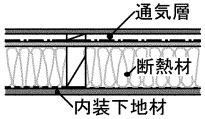
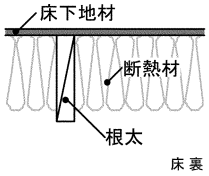
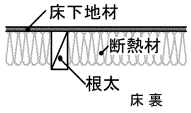
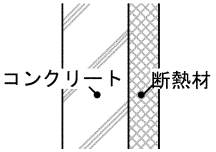
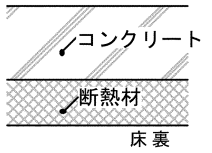
天井	0.17	天井根太の間にRが7.5以上の断熱材（厚さ265ミリメートル以上）を敷き込み、かつ、Rが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.24	天井根太の間にRが5.2以上の断熱材（厚さ185ミリメートル以上）を敷き込み、かつ、Rが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
外壁	0.35	壁枠組材の間にRが3.7以上の断熱材を充填し、かつ、Rが0.046以上の面材及びRが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
		壁枠組材の外側にRが0.9以上の断熱材を張り付け、壁枠組材の間にRが2.7以上の断熱材を充填し、かつ、Rが0.046以上の面材及びRが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.53	壁枠組材の間にRが2.3以上の断熱材を充填し、かつ、Rが0.047以上の面材及びRが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
床	0.24	床裏が外気に接する場合であって、根太の間にRが5.1以上の断熱材（厚さ180ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.34	床裏が外気に接する場合であって、根太の間にRが3.5以上の断熱材（厚さ125ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合 床裏が外気に接しない場合であって、根太の間にRが3.3以上の断熱材（厚さ120ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.48	床裏が外気に接しない場合であって、根太の間にRが2.2以上の断熱材（厚さ80ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
基礎	木造住宅　充填断熱工法の仕様例と同様		

別表第４

鉄筋コンクリート造等の住宅　内断熱工法の仕様例

部位	熱貫流率（単位１平方メートル１度につきワット）	仕様の詳細	断面構成図
屋根	0.27	屋根コンクリートスラブの下側（室内側）に、Rが3.6以上の断熱材を打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.35	屋根コンクリートスラブの下側（室内側）に、Rが2.7以上の断熱材を打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.37	屋根コンクリートスラブの下側（室内側）に、Rが2.5以上の断熱材を打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
外壁	0.39	コンクリートの内側（室内側）に、Rが2.4以上の断熱材を貼付け、打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.49	コンクリートの内側（室内側）に、Rが1.9以上の断熱材を貼付け、打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.75	コンクリートの内側（室内側）に、Rが1.1以上の断熱材を貼付け、打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
床	0.27	床裏が外気に接する場合であって、コンクリートスラブの下側（外気側）に、Rが3.5以上の断熱材を打込み、貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.32	床裏が外気に接する場合であって、コンクリートスラブの下側（外気側）に、Rが2.9以上の断熱材を打込み、貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.37	床裏が外気に接する場合であって、コンクリートスラブの下側（外気側）に、Rが2.5以上の断熱材を打込み、貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.38	床裏が外気に接しない場合であって、コンクリートスラブの下側（外気側）に、Rが2.3以上の断熱材を打込み、貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.46	床裏が外気に接しない場合であって、コンクリートスラブの下側（外気側）に、Rが1.8以上の断熱材を打込み、貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合	